

令和7年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号		授業科目名	制度会計特論 B			担当教員	安藤 鋭也		
		英語授業科目名	legal financial accounting B			単 位	2	学 期	後期
対象年次	1・2年次		クラス指定	なし		他との関連			
履修条件	会計学の基礎知識を有していることが望ましい。								
テーマ・副題	制度会計のあり方について。								
授 業 の 教育目的 ・ 目 標	制度会計の現状を理解し、そのあり方を吟味する。 前期の特論 A では、財務諸表の認識・測定に係る理論と構想を理解する。 後期の特論 B では、近年の会計基準の動向を理解する。								
授 業 の 理解度の 到達目標	制度会計が抱える問題点や課題を把握し、自分なりの視点を持つことが目標である。								
授業キーワード	会計制度、会計基準、社会規範。								
授業の内容	大学院の授業であることから、講義は最低限とし、双方向の議論を通して制度会計の理解に努める。								
授業の方法	原則として、受講者が順番に発表する形でテキストを輪読する。								
授業展開	1. 資産の会計(2)無形固定資産の会計 2. 持分の会計(1)持分とは何か 3. 持分の会計(2)引当金の会計 4. 金融商品の会計(1)金融危機と金融商品会計 5. 金融商品の会計(2)ヘッジ会計 6. 従業員給付の会計(1)従業員給付とは何か 7. 従業員給付の会計(2)ストック・オプションの会計 8. 連結グループの会計(1)連結会計ダイナミズム 9. 連結グループの会計(2)親会社概念とエンティティ概念 10. 企業結合・事業分離等の会計(1)M&A をめぐる新潮流 11. 企業結合・事業分離等の会計(2) のれんの非償却が財務諸表に及ぼす影響―製薬業界の事例 12. グローバリゼーションの会計(1)日本企業のグローバリゼーションと為替換算 13. グローバリゼーションの会計(2)為替予約の会計 14. 戦略的企業評価に向けて(1)企業を見る目―イメージか財務的裏づけか 15. 戦略的企業評価に向けて(2)財務諸表分析と企業の会計政策								
成 績 評価方法	授業への取組み姿勢（50%）、発表内容のレベル（50%）で評価する。								
成 績 評価基準	総合点が 80 点以上を A、79～70 点を B、69～60 点を C、それ以下を D とする。 欠席が 1/3 以上の場合は E となる。								
テキスト	伊藤邦雄(2024)『新・現代会計入門(第 6 版)』日本経済新聞出版社。								
参考図書	適宜紹介する。								
準備学習に 必要な時間 又はそれに 準じる程度 の具体的な 学習内容	発表者は、①担当箇所を十分理解した上で発表に臨むこと、②所要部数のレジメを作成し事前に配布することが求められる。 出席者は、①テキストの予習・復習を欠かさないこと、②疑問点や問題意識を明確にして出席することが求められる。								
学生への メッセージ	制度会計や関連する様斬な事象に関心を抱くこと、授業に主体的・積極的に参加することを期待する。								
オフィスアワー	火曜 2 時限、水曜 2 時限。メールによる事前のアポイント取り付けが望ましい。								
連 絡 先	電話番号	0274-42-2828（内線：5511）			メールアドレス	andou@jobu.ac.jp online-andou@sc.jobu.ac.jp			
人数制限	特に定めない。								